

太陽の素顔に迫る！ ～ガリレオ教室で太陽観察会～

毎月第2日曜日に実施しているガリレオ教室。7月12日(日)は「太陽の素顔」と題して、天文ボランティアさんが太陽について詳しく解説しました。そのあとに今年から導入した太陽望遠鏡を使って、太陽の表面の様子やプロミネンスを観察しました。プロミネンスとは、太陽から噴き出ているガスで、炎のように噴き出している様子が見られることから「紅炎」とも呼ばれます。温度は1万度ほ



どで、大きさは5万kmから大きいものは10万kmを超えます。参加者の皆さんは、はじめて太陽望遠鏡で太陽を観察する方ばかりで、プロミネンスを観察して「こんなにもはっきり見えるんだ。」「太陽が生きてみたい。」と、大変驚いていました。



※アストローツ

こども科学セミナー ～コズミックカレッジ～

7月26日に「JAXAコズミックカレッジ」を開催しました。太陽系を5億分の1の縮尺にして、あすなろう鉄道に乗って太陽系の惑星の大きさや距離を体感しました。あすなろう四日市駅に直径2.8メートルの太陽があるとして駅を出発しました。電車がだんだん加速していく間に水星、金星と次々に過ぎてゆきました。参加者には、思った以上に惑星が小さいことや第4惑星の火星までが太陽に近いこと、逆に土星や天王星までが遠いこと



を体感してもらいました。終点の内部駅が、天王星の場所となり、さらに4キロメートルも離れた場所に海王星があることを説明しました。宇宙は空っぽで大変広い空間であると感じてもらえました。そして、プラネタリウムで月や土星について学んでもらった後は博物館前の市民公園で移動天文車きさら号によるスターウォッチングを行いました。この日は天気にも恵まれ、土星の環をじっくりと観察することができました。

8月の天文現象は？

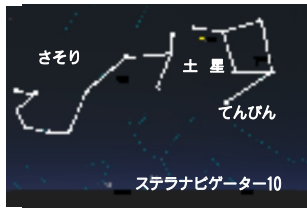
8日 秋の始まり 立秋

「夏真っ盛り！」と思ったら、早くも8日には秋の始まり「立秋」がやってきます。「立秋」は、初めて秋の気配が感じられる時期と言われますが、8月8日頃はまだまだ夏本番という感じですね。でも、空を眺めてみると、入道雲からうろこ雲に、そして、夜空も東の方には、やぎ座やみずがめ座といった秋の星座たちが昇り始めてきています。空の移り変わりから、季節の変わり目を感じてみてはどうでしょうか。

14日 夕空から消える金星

「宵の明星」として西の空にひとき

わ明るく輝いていた金星が、いよいよ14日に地球と太陽の間にやってきて内合(ないごう)となります。この前後のあたりは金星は太陽の近くにありますから、観察することは難しいですが、それ以降は明け方の東の空に「明けの明星」として輝きます。また、金星の隣で同じように明るく輝いていた木星も8月27日に太陽の近くに来ることから、夕空から姿を消してしまいます。この夏の一番の見ごろの惑星は、さそり座の近く輝く土星だけになってしまいます。



ステラナビゲーター10

ペルセウス座流星群

夏といえば、ペルセウス座流星群ですね。この流星群は、1月の「しぶんぎ座流星群」、12月の「ふたご座流星群」と合わせて「三大流星群」と言われています。その中でも、ペルセウス座流星群は毎年確実にたくさん流れ星が出ますので、夏の風物詩になっています。流星群の活動の極大(きょくだい)は、日本時間の8月13日15時30分頃と予想されています。極大が日本の昼間にあたることから、このときの流星は観察できませんが、その前後にあたる、8月12日夜半から13日未明にかけてと13日夜半から14日未明にかけては月明かりもなく、暗い場所で観察すれば1時間当たり30個以上の流星を見る

ことができるかもしれません。放射点は、ペルセウス座のあたり(下図)で、ここを中心に四方八方に広がりますので、どこを向いても観察することができます。できるだけ広く空を見渡せる場所で、空全体を見る感じで眺めていたほうが流れ星を見つけやすいです。



8月14日午前0時頃 (ステラナビゲーター10)

冥王星に最接近！



7月14日アメリカの探査機ニューホライズンズが冥王星の約12500km上空まで最接近しました。人類史上初めておよそ48億8千万kmも離れた太陽系の果ての準惑星に到達しました。冥王星の大きさは直径2370kmと想定よりやや大きいことがわかりました。また、南側にはクレーターは見当たらず、氷の山々や氷の平原が確認されています。今後16ヵ月かけて地球へ送られてくるデータを分析することで、太陽系の成り立ちに迫る新たな発見が期待されています。

★★観望会★★

- | | |
|--|--|
| <p>《ペルセウス座流星群観望会》 日時：8月13日(木) 19時から21時 場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近 内容：三大流星群の一つペルセウス座流星群を観察します *昨年と観望場所が変わりましたのでご注意ください *レジャーシート等をご持参ください *当日の自由参加です *天候不順の場合は中止 *きさら号は出勤しません</p> | <p>《博物館主催きさら号観望会》 日時：8月22日(土) 19時から20時30分 場所：市民公園 内容：月と土星を見よう！ *当日の自由参加です *天候不順の場合は中止 *きさら号は出勤しません</p> |
|--|--|



編集後記

毎日うだるような暑さがつづいていますが、夜になれば少しだけ暑さが和らぎますよね。こんなときは夜空のイベントを楽しみましょう。お盆の頃にはペルセウス座流星群が見頃になります。夜空をゆっくり眺めながら、流れ星に願いをかけてみてはいかがでしょうか。

